

1



遺伝子組換えタネが輸送中、こぼれ道  
端の雑草に混ざり、汚染する。

2

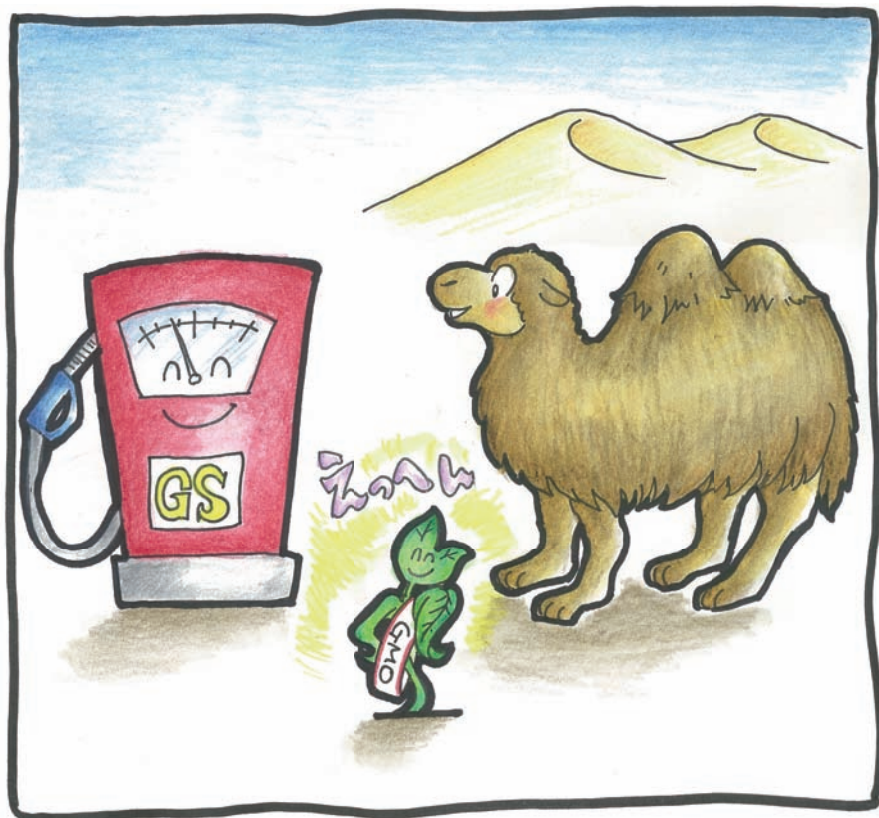


醤油、食用油は“遺伝子組換え”の表示がないので非組換えのダイズ、十タネ、トウモロコシから作られている。



“遺伝子組換えでない”の表示がされている食品がみられるが、これは表示義務があるからである。

4



地球温暖化対策のバイオ燃料、砂漠化対策の植樹などに遺伝子組換え作物は期待できる。

5



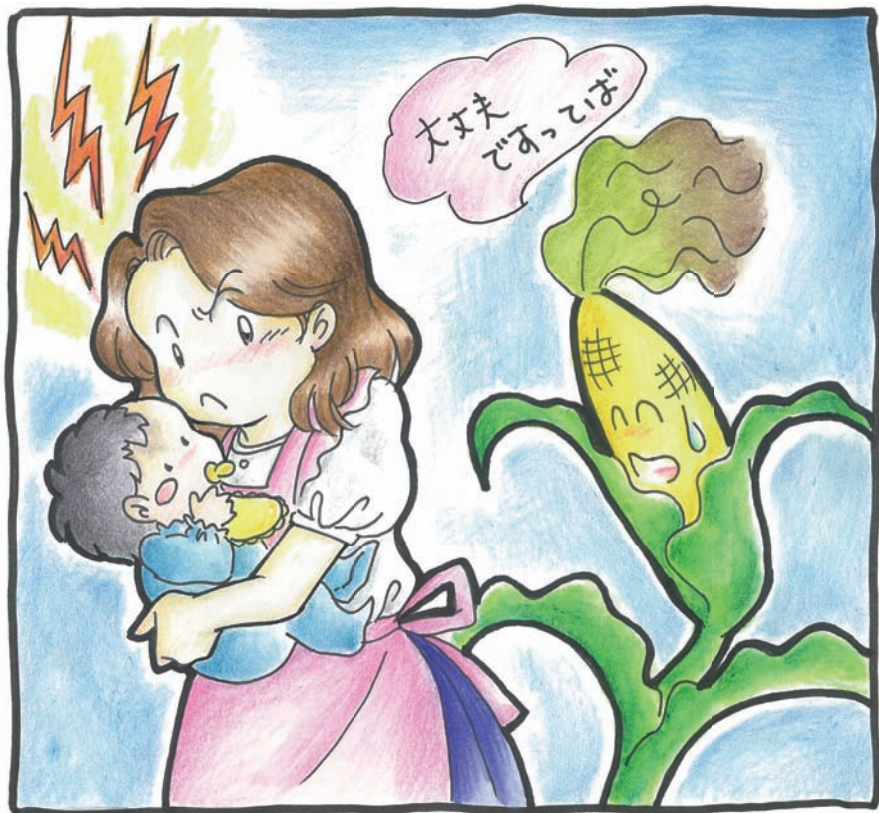
日本の農業の担い手はおじいちゃん、おばあちゃん、雑草を抜く労力、害虫を駆除する労力が省けて、遺伝子組換え作物は期待できる。

6



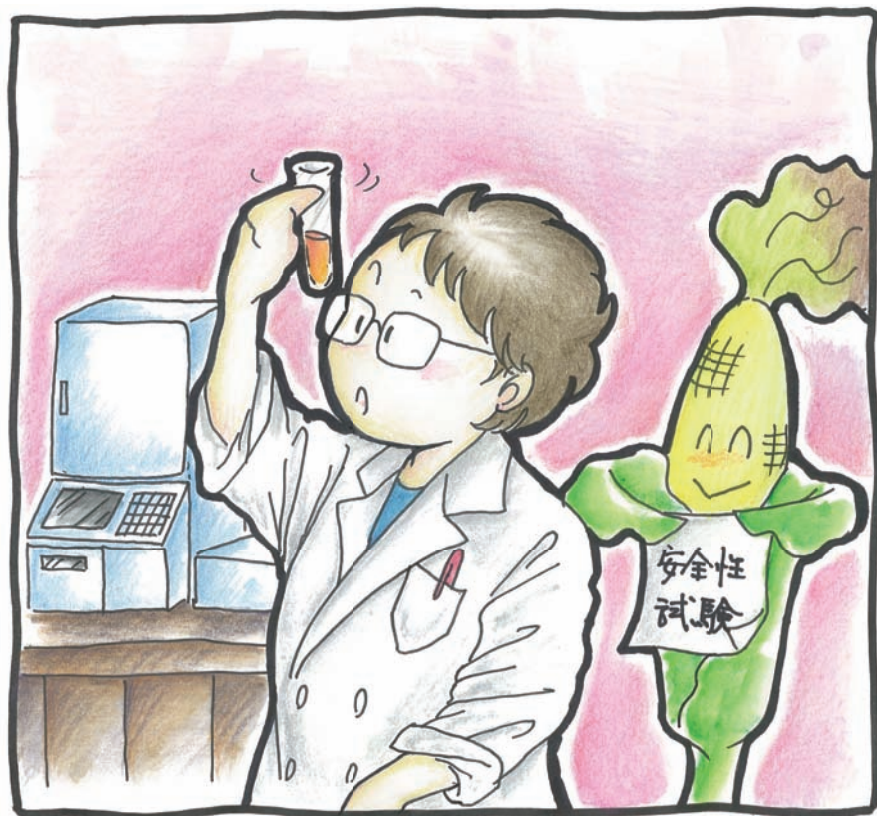
日本は飽食であるが、世界では中国などによる食料の奪い合いが起こっており、遺伝子組換え作物で増産を図るべきである。

7

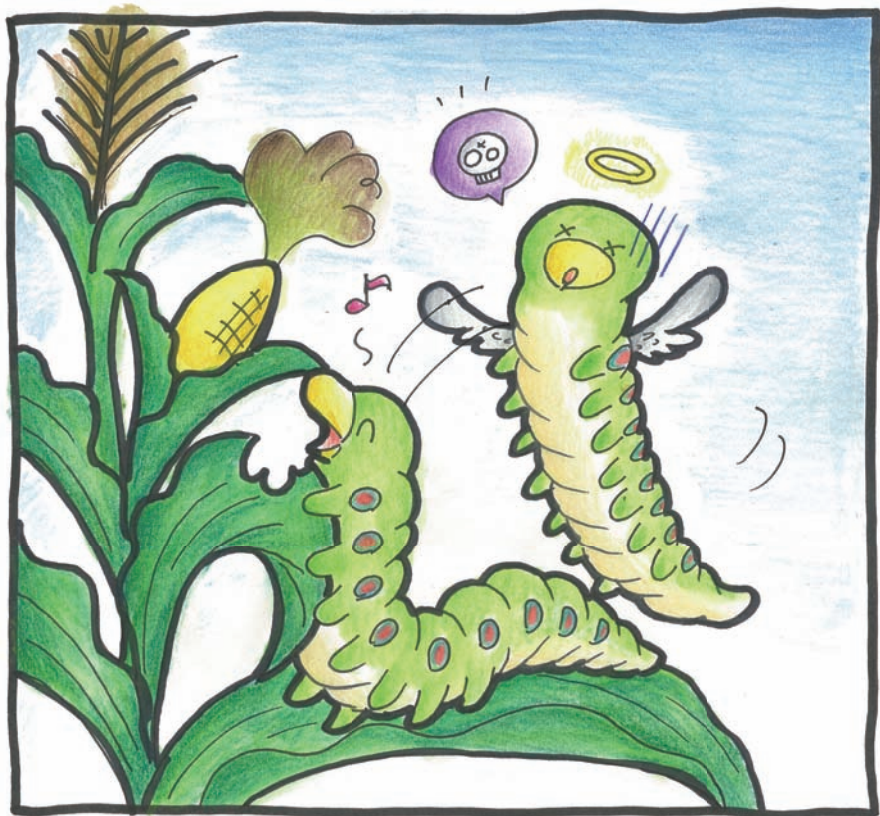


遺伝子組換え作物・食品はせいぜい  
1996年からしか人間が食べていないので、  
子孫への影響は分からない。





遺伝子組換え作物はアレルギーなどいろいろな安全性試験が義務付けられているので、非組換えより安全である。



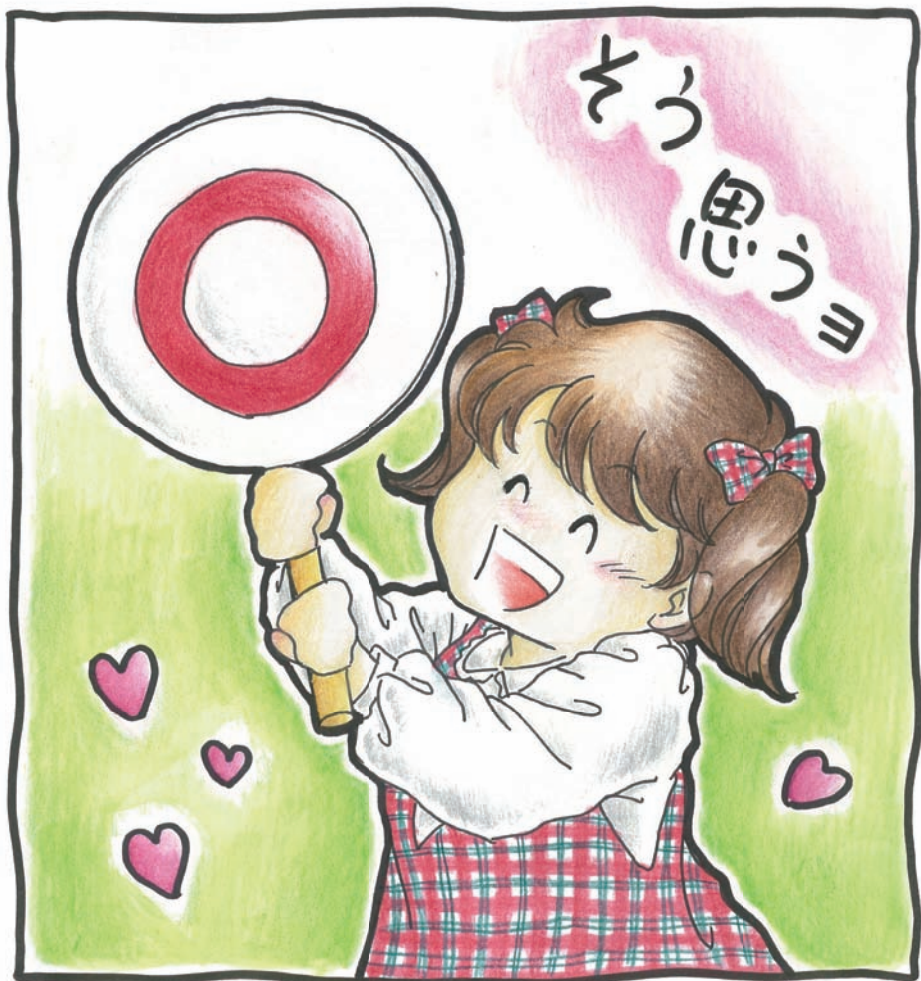
害虫が食べると死ぬ遺伝子組換えトウモロコシを人間が食べて大丈夫なわけがない。

10



遺伝子組換え作物は米国などで 1996 年から食べられ事故はゼロであり安全である。

YES



NO

そうは思わねえぞ!

